

アフリカ社会・文化論

東アジアから見ればはるかに遠い所のように思えるアフリカが、実は非常に親しいものに思えてくるという教員の経験と、最新の現地からの報告を交えて講義します。アフリカのパワフルな元気と、そこに現在置かれている人たちの苦境について学び、アフリカとそこに暮らす人々に対して、私たちにできることは何なのかを自らに問います。

日時: 10月4日(火) ~ 平成29年1月31日(火)

各回 14:30~16:00 【全15回】

会場: 山口県立大学 3号館C12教室

講師: 山口県立大学国際文化学部

教授 安溪 遊地

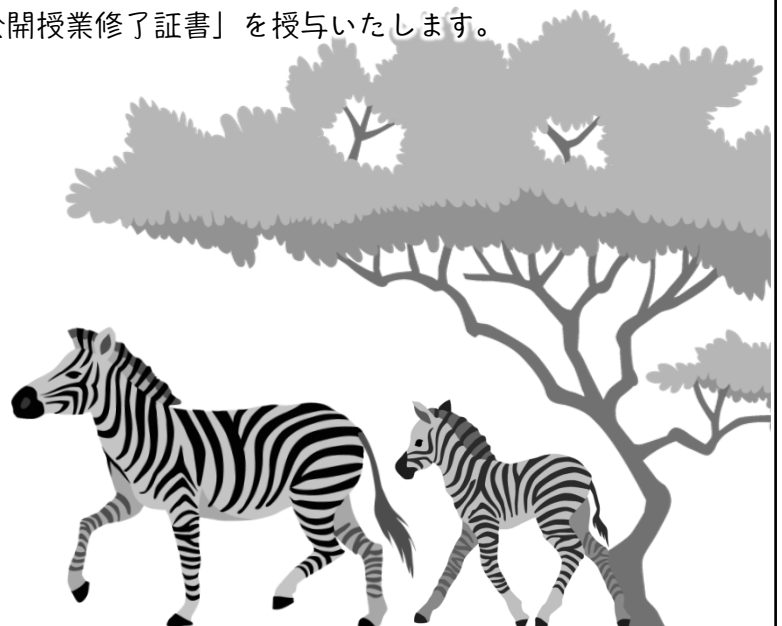
受講料: 1回 500円 (10回以上 5,000円)



部分受講可

- 13回以上受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。
- 詳しい内容は裏面をご覧ください。

■会場案内図



お申込み・お問合せ

◆TEL・FAX またはハガキでお申込みください。

〒753-8502 山口市桜島 3-2-1

山口県立大学地域共生センター共生教育部門 宛

TEL 083-928-3495

FAX 083-928-3021

■講義内容

回	日時	テーマ	内容
1	10/4 (火)	異国のカップルを半年白めて養子にくださった —コンゴの森の社会のしなやかさと文化の豊かさ	1978年コンゴ民主共和国(ザイール)で、私はアフリカの熱帯雨林のなかにある村で暮らした。滞在一ヶ月で村長の養子になって、森の暮らしの豊かさを知った。
2	10/11 (火)	大都市のスラムに生きる子どもたち —ケニアのマゴススクールから早川千晶さんを迎えて	ケニアの首都ナイロビのスラムに学校を作る住民たちとともに活動するパワフルな日本人女性による現地報告
3	10/18 (火)	お金がなくても困らない経済 —物々交換の市場が結ぶ川の民と森の民	貨幣経済が浸透した現代社会において、コンゴ川の漁民と焼畑農耕民が毎週出会い物々交換をする定期市は、謎の存在だった。その秘密を解き明かす。
4	10/25 (火)	西アフリカの庶民の暮らし —ガボン共和国の街と森で	西アフリカのガボン共和国をたずねての、はじめての村での予備調査風景。フィールドワークのようすを紹介。
5	11/1 (火)	どうしてこんなに多彩な食べ物や地酒があるの？ —庶民の暮らしの知恵の世界を探る	地酒づくりを追う東アフリカとガボンの旅から。東アジアにしかないとされていたカビ(麹など)を用いた地酒を世界ではじめて学会で紹介した安溪貴子さんの研究を紹介。
6	11/8 (火)	「歴史のない暗黒大陸」というウソは誰がつくったの？ —西欧から奴隷制度の影まで輸入した日本人	古代からの文明の興亡。エジプト文明には黒人王朝があった。ジンバブ웨の古代遺跡など、高度の文明を支えた人々の歩みをたどる。
7	11/15 (火)	なぜアフリカの国境はまっすぐなの？ —列強の植民地分割とその後遺症	列強による植民地化と独立。ケニアとコンゴ民主を例に。
8	11/22 (火)	黄色い皮を被ったバナナと呼ばれた日本人 —アパルトヘイトとの闘いと「名誉白人」	アパルトヘイトのもとでの人々の暮らしと闘い。暴力に対して非暴力はどこまで有効か。さまざまな映画作品を紹介しつつ、差別が法律となっていた時代の生活を知る。
9	11/29 (火)	「大虐殺をテレビで見ても『怖いね』といって 食事を続けるんだ」 —1994年ルワンダの悲劇と和解・復興の課題	民族対立と内戦の行方。1994年のルワンダの悲劇はどうして起こり、コンゴ民主共和国の紛争につながり、さらに第1次アフリカ大戦といわれる戦争になったのか。
10	12/6 (火)	日本人は外国語としてまずスワヒリ語を学ぶべきです —アフリカの多彩なことばの世界から	Jambo, Jambo Bwana というライオンキングの歌など、スワヒリ語で歌をうたってみよう。ピジンとクレオールという現象を知る。
11	12/13 (火)	話し手5万人の Songola 語の神話と取り組む —辞書も文法書もない私の研究最前線から	スワヒリ語の仲間であるバントゥー諸語との格闘。話者5万人程度のソゴラ語の辞書づくりと、昔話・神話の研究。
12	12/20 (火)	「あなたこそ日本の未来」 —環境保護にかかわるコンゴのカヘーブアさんからのメッセージ	東アフリカの聖なる森を守るために、若者たちと長老たちが合意した秘密の計画とは。ケニア東海岸でのフィールドワーク結果の紹介。
13	1/17 (火)	あなたの携帯にはコンゴ人の血がこびりついている —希少金属 tantalum 利権の犠牲となるコンゴ内戦の500万人の死者	ルワンダ内戦のあと、いまでも続くコンゴの内戦状態。資源が多いことが、かえってそこに住む人々の不幸を生み出す「資源の呪い」をどう越えればいいのか。
14	1/24 (火)	岩手県遠野のカマドと草履で暮らしを変えた —西ケニアのエンガロ村の人々と岸田ママの起こした奇跡	援助とはなにか。ケニアに住んで30年、岸田ママとよばれる女性の智慧にみちた取り組みが日本の援助のあり方をそのものをも変えていく。
15	1/31 (火)	あなたの暮らしが今問われている	質疑応答とレポートの書き方の指導。

■受講申込書

平成28年度後期公開授業「アフリカ社会・文化論」を受講します。

お名前(ふりがな)	
ご住所	〒
電話(日中連絡のとれるもの) FAX	